



大砂土小だより

平成29年7月1日 第4号

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 認め合い、学び合い、共に育つ ～

<目指す児童像>

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

コミュニケーションを図ることにより、

互いを認め、高め合い、ともに伸びる子

TEL 663-7005

FAX 663-9886

メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

「誰もが輝ける世界に」

校長 書上 敦志

昨今、ゆとり世代と言われる若者の活躍が目立ちます。将棋の世界では、中学生が29連勝という大記録をつくりました。卓球界でも中学生がオリンピック銀メダリストに勝利しました。陸上男子200mで、サニブラウン選手が優勝し、100mとともに2冠を達成しました。ガーナ人の父と日本人の母を両親にもつ日本国籍の選手です。日本代表として世界選手権に出場する予定です。3年後に迫る東京オリンピックでの400mリレー金メダルも夢ではなさそうですね。日本もますますグローバル化が進み、世界の国々との関係も身近なものになっています。また、パラリンピックでも日本選手の活躍が期待されています。障害のある皆さんも積極的に社会に出て活躍する時代になっています。嬉しい限りです。五輪種目では男女混合や女子の種目も増えるようです。女性アスリートの活躍も楽しみです。

しかしながら、世の中には、いじめの問題、子どもや高齢者、障害のある人、外国人、女性の人権などで、残念なことに、まだまだ差別されることがあります。そこで、国も新しく法律を作って、大人も子どもと一緒に解決に向けて取り組んでいくことにしました。

「人権」という言葉を図書室にある子ども向けの国語辞典で引くと、「人が生まれたときから持っている、自由、平等などの権利」とあります。「自由」とは、「思いのまま、しぼられないこと」。「平等」とは、「同じであること、差別のないこと」です。このことは、私たちが「自分らしく生きること」につながります。私たち一人ひとりが、幸せに生きるために、どのようなことが大切になるのでしょうか。友だちや先生方や家族のみなさんと一緒に考えることが大切です。先日の講話朝会で、大砂土っ子たちに「じんけん」について上記のような話をしました。ご家庭でもお子様の年齢に応じて話し合ってみてください。

6月はさいたま市のいじめ撲滅強化月間でした。大砂土小学校の子どもたちで組織する代表委員会では、「いじめレッドカード！スマイル委員会」を開きました。いじめ撲滅のために、①児童会だよりによる呼びかけ②ありがとうポストの設置③いじめ防止の劇（テレビ放送）④あいさつ運動の4つに取り組んでいます。詳しくは、今回、初めて各家庭にも配付しました「大砂土小児童会だより」をご覧ください。子どもたちからの保護者の方への呼びかけです。子どもたちの思いが皆様にも届くことを願っています。また、本年度より発行している生徒指導だより「けやきの森から」にも学校の取組を紹介しています。ご一読いただけると幸いです。

さて、7月は1学期のまとめの時期。夏休みに向け生活面、学習面を振り返り、新学年になってできるようになったこと、頑張ったことをお互いに称え合い、子どもたちのさらなる成長を見守りましょう。大砂土っ子一人ひとりの笑顔のために教職員一同努めてまいります。保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校教育ビジョン：「夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子」の育成】

